

平成 26 年 5 月 8 日

西日本旅客鉄道株式会社
代表取締役社長 真鍋 精志 様

京都商工会議所
会頭 立石 義雄

梅小路公園周辺の賑わい整備促進についての要望

西日本旅客鉄道株式会社におかれましては、平素より安心して快適な鉄道事業に取り組まれるとともに、京都の観光振興事業に対しても多大なご尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成 28 年春の開業を目指し整備を進められております京都鉄道博物館につきましては、地元経済界といたしましても、京都の新たな観光集客施設として、その完成に大きな期待を寄せているところであります。

鉄道博物館が建設されます梅小路公園周辺では、年間約 250 万人の高い集客力を誇る京都水族館をはじめ、京都市中央卸売市場第一市場再整備においても新たな賑わい空間の創出が計画されるなど、今後ますますそのポテンシャルが高まりつつあります。

つきましては、こうした梅小路公園周辺の集客により生み出される賑わいを、下京区西部エリア全体の活性化につなげるため、下記の事項について要望いたします。

記

1. 梅小路公園周辺への京都駅からの交通アクセスを改善するため、七条通付近に新駅を設置されたい。
2. 京都鉄道博物館の開業にあたっては、梅小路公園周辺の商店街をはじめ豊富な歴史・文化等の地域資源を有効に生かすなど、下京区西部エリア全体の活性化に留意されたい。

以 上